

小学校 高学年<5・6—(1)>

学年	5年 6年	時間	体育 「みんな あつまれ」集合・整列・列変化	時期	年間を通じて 体育の授業で	時数	はじめごろは 5分→ 2分
目標			集合、整頓、列の増減、縦列・横列、列変化などの行動の仕方を身に付け、地震や火災等いつ起こるか分からない突然の災害時にも能率的で安全な集団としての行動ができるようにする。				
資料・準備			笛またはタンバリン、ストップウォッチ（必要な場合）				

展開 <第1時・・・学習はじめの10分程度>

	学習活動と内容 主な発問・指示(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導入	1 いろいろな並び方の学習をすることを知る。 ◇地震や火災など突然の災害時でも役立ついろいろな並び方や列の向きや数を変化する方法の勉強をしましょう。いつ、どんなことが起こっても、すぐに集合できるように頑張りましょう。	○地震や火災など、いつ起きるか分からない突然の災害時でも、素早く集合し、全員がいることを確認できるように練習を重ねていくことの必要性を知らせる。 ○前学年までに、いろいろな並び方を既に学習している。3(4)年ではいろいろな既習の並び方、列の増減の仕方に加え、班での並び方、向き変換（第3時以降→右向け、右。左向け、左。回れ、右）について学習させ、練習を行い定着させていくことを伝える。
展開	2 実際に並び方に挑戦する。 ◇今日は、5(6)年生になったので、背の順番の確認をしましょう。男子と女子別々に背の順に並んでみましょう。 ◇前の人と後ろの人が誰か覚えておきましょう。 ◇練習をしてみましょう。 ◇次に列の増減や向き変換を練習しましょう。	○念のため、身体測定結果を準備しておき、支援する。 ○自分の前後の人を覚えることで、早く並べ、いない人を見つけやすいので、必ず覚えるよう指示する。 ○「回れ、右」の方法な確認をする。できていない児童には、早く徹底させる。 ☆本時に学習した並び方で、順番を間違えずに集合、整列、向き変換ができたか。
まとめ	3 学習した並び方で整列する。 ◇はじめは体育館を自由にスキップで動いてください。笛(またはタンバリン)の合図で、押さず、走らず、しゃべらず(お・は・し)に、さつき練習した列になってみましょう。	○本時の集合・整列のまとめとし、この後、本時のメインの学習につなげる。 ○ストップウォッチで計測してみるのもよい。 ☆本時に学習した並び方で、素早く集合、整列、列増減、向き変換ができたか。

展開 <第2時・・・学習はじめの10分程度>

	学習活動と内容 主な発問・指示(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
展開	1 並び方に挑戦する。(組替えがあった場合) ◇今日は、男子と女子別々に生まれ順に並んでみましょう。 4月生まれの人、5月生まれの人、・・・。 ◇前後の人気が誰か覚えておきましょう。 (組替えがなかった場合) すぐに各列を増減。	○子どもたちが、互いに自分の生年月日を言ったり、友達の生年月日を尋ねたりしながら列を作るよう助ける。 ○並び終わったら、並んだ順に大きい声で生まれ月日を言い、全員で答え合わせをする。 ○自分の前後の人を覚えることで、早く並べ、いない人を見つけやすいので、必ず覚えるよう指示する。 ☆学習した並び方で、間違えず集合、整列、列変化ができたか。
まとめ	2 学習した並び方で整列する。 ◇体育館を自由にスキップで動いてください。 笛(タンバリン)の合図で、押さず、走らず、しゃべらずに、さつき練習した列からすぐに列増減、向き変換をしてみましょう。	○突然の災害時に素早く並ぶ学習であることを確認する。 ○本時の集合・整列のまとめとし、この後、本時のメインの学習につなげる。 ○ストップウォッチで計測してみるのもよい。 ☆本時に学習した並び方で、素早く集合、整列、列増減、向き変換ができたか。

<第3時以降・・・学習はじめの5分～10分程度。徐々に短時間で>

- ・ 第3時以降は、第1時、2時に加えて、向き変換（第3時以降→右向け、右。左向け、左。回れ、右）について学習し、練習を行い定着させていくことを伝える。
- ・ 押さず、走らず、しゃべらず(おはし)を守り並べるようになったら、災害はいつ起こるか分からないことを意識させて繰り返し学習中の集合・整列場面で活用する。ストップウォッチでの計測は続けて行うとよい。

関連する教科・領域等	全教科・領域
------------	--------